

ユウギリソウ デボーション・シリーズ

全品種とも大幅に品種改良が施され、12-15cm (あるいは 20cm) ポットで
バランスのよく作ることができる矮性のポット用品種

- デボーション・シリーズは全色で大きく改良が施され、草丈の揃いや開花の同期性などが一層向上しています
- たとえばブルー(imp.)、パープル(imp.)、パーガンディは開花に関しては改良前より約 2 週早く、またホワイト(imp.)に関しては、約 4 週も開花が早くなっています
- 4 品種とも、自然によりコンパクトな草姿と豊かな分枝をつくり、12-15cm ほどのポットにすっぽりと収まります。また 20cm 以上の大鉢への定植も可能で、仕立に幅のある品種。小さいポットの場合、矮化剤を用いた方がよいでしょう
- 室内用の鉢花として仕立てるのであれば、矮化剤を用いて草丈をだいたい 30cm に調整することも可能です
- 日あたりのよい花壇に定植すれば、条件によりますが、45-90cm くらい丈にまで生長します。あまり高すぎない中間的な草丈の維持が可能なので、ロックガーデンからガーデンカットフラワーまで広い用途に供与できる品種です
- 葉はとてもエレガントで、トップにつく花にはかすかに芳香があります。花は典型的な、小花の集成による頂生の散房花序
- 容易に播種できるペレット種子を供給します

デボーション・シリーズの花色:

ブルー(imp.)
パーガンディ
パープル(imp.)
ホワイト(imp.)

学名: *T. caeruleum*

種子粒数: 750-1,200 粒(ペレット)/グラム

発芽ステージ

播種

200 穴トレイにペレット種子を 1 粒播きします。覆土はしません。確実に発芽させるため、発芽チャンバーの利用を推奨しています。ペレットの融解を早め、さらに発芽直後の苗の状態を安定させるため、発芽時の培地は十分な湿潤を維持します

発芽適温

21°Cの発芽温度を維持します

湿度

相対湿度 95%を維持します

照度

ユウギリソウは発芽に光が必要です。その場合、蛍光灯からの 100-1,000 ルクス程度の照度で十分です

平均的な発芽ステージ期間

7-9 週で発芽ステージを終了します

プラグ生産ステージ

NOTE: 一般に、ユウギリソウの苗の生育速度は、育苗初期では時間がかかります

育苗温度

プラグ生産中のトレイの直接加温は不要です

ステージ 2&3: ステージ 2,3 では、昼間温 21-22°C、夜温 18°Cが育苗に最も適しています

ステージ 4: ステージ 4 では、昼間温 18°C、夜温 13-15°Cが育苗に最も適しています。ステージ 4 ではそれまでよりも低い温度管理を行います

照度

プラグ生産の段階では電照等は不要です。デボーション・シリーズでは、鉢上げ後の長日処理は花芽形成のため必要ですが、育苗期間中の処理は最終的な生育期間の短縮にはつながりません

かん水

発芽後は多かん水による過湿を避けましょう。ステージ 4 では特に、ボトリティスの発生を防ぐため夜間に葉に水滴が残らないようにしましょう

肥料

肥料はステージ 3 から開始。週 2 回、14-0-14 と 20-10-20 を 50ppm(N)で交互に与えます。10 日から 2 週たったら濃度を 100ppm に上げ、このプログラムをプラグ生産ステージの終了まで続けます

ステージ 2: EC 値*: 0.5-0.7 pH 値: 5.8-6.2

ステージ 3&4: EC 値*: 1.0 pH 値: 5.8-6.2

矮化剤(PGR)

プラグステージでは不要

鉢上げから出荷までのステージ

コンテナサイズ

12cm: 1本植えを目安

20cm コンテナ: 3本植えを目安

根詰まりはプラグにとくに悪影響を及ぼすので、ポット上げのタイミングを見逃さず適切に行いましょう

生育適温

夜 温: 15°C

昼間温: 20-22°C

デボーション・シリーズは、夜温 10°C、昼間温 15°C、あるいはそれよりもやや低くても生育しますが、結局は開花までの期間がそれだけ長くかかります

肥 料

ポットに上げて1週間後から開始。硝酸カルシウムと硝酸カリウムの混合を用いて、150ppm(N)を週に一度与える。定植から出荷まで通して、EC 値*を 1.5mmhos/cm(2:1)に、土壌 pH を 5.8-6.4 に維持しましょう。養分の滞留を防ぐため時々、真水で培地を濾すような感じで洗います

照 度

ユウギリソウに早く花をつかせるためには長日条件(16時間以上)が必要です。短日下では、電照による明期時間の継続か、夜間の暗期中断のどちらかを行います。記録では、暗期中断の方が明期継続よりも約1週早く開花します。明るさは、150ワットの白熱球で十分効果があります

矮化調整剤(PGR)

丈の調整の場合、ポット上げ後2週をめぐりにAレスト20ppm ないし、B ナイン 5,000ppm の葉面散布を行います。2回目の矮化剤散布も、同じ物を同濃度で2週間に行います。これによって、ユウギリソウによく見られる花芽をもつてからの節間伸張の抑制に効果があります。この2回目の矮化剤投与を行うこと出1週ほど開花が遅れます。また、矮化剤を用いる場合は、同薬剤の注意書き等に従い適切な使用を行いましょう。矮化剤の使用に際しては、実際に製品へ用いる前に事前にハウストライアルを行うことを奨励しています

病虫害等

ハダニやスリップスには注意が必要

出荷適期

デボーション・シリーズの出荷は、花序を形成する小花が4分の1ほど開いた頃が適期

平均的な生産期間

播種から鉢上げ: 7-9 週

鉢上げから出荷(開花): 9-11 週

トータルな生産期間: 16-20 週

注意点: EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適合し得ない場合があります

2005年9月改定

PanAmerican Seed

PanAmerican Seed Co.

622 Town Road, West Chicago, Illinois, USA 60185-2698
630 231-1400 Fax: 630 231-3609 www.panamseed.com

®および®は、Ball Horticultural Company のアメリカ合衆国、またその他国における登録商標です。

©2003 Ball Horticultural Company Printed in USA PAS03013
Originally issued as PAS03013 in USA, and under permission translated into and revised Japanese in 2005. Printed in Japan